

## 製品に含有する有害物質全廃への取り組み

FDKグループでは、製品に含有する有害物質の全廃に向けた活動を行っています。欧州のRoHS指令などの法令やお客様からの有害物質の不含有保証や管理体制の構築要求などへの対応を強化するため、2004年10月に「含有化学物質管理委員会」を設置し、海外を含めたグループ全体としての含有化学物質の管理活動をスタートしました。

### 第三期環境行動計画の目標

全ての製品に含有する富士通グループ指定有害物質を、2005年度末までに全廃する。  
ただし、RoHS対象の欧州向け製品は、2004年12月末までに対応する。

- ・富士通グループ指定有害物質31物質群を全ての製品において2005年度末までに全廃する。
- ・欧州向けのRoHS対象製品は、鉛、カドミウム、水銀、6価クロムの化合物および、PBB、PBDEについて、2004年12月末までに対応する。

### 有害物質全廃活動内容と結果

2004年度は、調達品において富士通グループ指定物質を包含した当社が調査対象とする1403物質について含有調査を行いました。調査データをECO-DB(FDKグループ環境負荷化学物質データベース)に蓄積するとともに、指定有害物質を含んでいるものについては代替品の検討を行いました。一方、「含有化学物質管理委員会」においては、含有化学物質管理強化について検討し、FDKグループとしての含有化学物質の管理と全廃に向けてのルールづくりを進めました。

これらの活動の結果、2004年12月末までの全廃を目標としていたRoHS対象の有害物質については、全ての新規開発品において全廃対応できました。しかし、既存製品においては、代替品の信頼性などの問題により、全廃できないものがありました。従いまして、今後も品質面の確認を進めながら、全廃活動を継続していきます。富士通グループ指定有害物質については、2005年度末全廃に向けて、今後も代替品の検討と有害物質を含まない材料への切り替えを継続していきます。

### 富士通グループ指定有害物質

含有禁止物質：製品への含有を禁止 27物質群	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ポリ塩化ビフェニル類(PCB類)</li> <li>●ポリ塩化ナフタレン(塩化物が3以上)</li> <li>●アスベスト類</li> <li>●CFC類</li> <li>●特定ハロン類</li> <li>●四塩化炭素</li> <li>●1,1,1-トリクロロエタン</li> <li>●プロモクロロメタン</li> <li>●臭化メチル</li> <li>●HBFC類</li> <li>●ポリ臭化ビフェニル類(PBB類)</li> <li>●ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE類)</li> <li>●短鎖型塩化パラフィン(炭素鎖長10~13)</li> <li>●ビス(トリブチルス)＝オキシド(TBTO)</li> <li>●トリブチルス類(TBT類)</li> <li>●トリフェニルス類(TPT類)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特定アミン (直接かつ長時間、皮膚に接触する部位に限る)</li> <li>●特定アミンを生成するアゾ染料・顔料 (直接かつ長時間、皮膚に接触する部位に限る)</li> <li>●クロルデン類</li> <li>●DDT</li> <li>●アルドリノ</li> <li>●エンドリン</li> <li>●ディルドリン</li> <li>●ヘキサクロロベンゼン</li> <li>●N,N'-ジトリル-パラ-フェニレンジアミン、 N-トリル-N'-キシリル-パラ-フェニレンジアミンまたは N,N'-ジキシリル-パラ-フェニレンジアミン</li> <li>●2,4,6-トリ-ターシャリ-ブチルフェノール</li> <li>●トキサフェン</li> <li>●マイレックス</li> </ul>
<p>オゾン層破壊物質</p>	
含有全廃物質：期限を定めて製品への含有を禁止 4物質群	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●カドミウムおよびその化合物</li> <li>●六価クロム化合物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鉛および鉛化合物</li> <li>●水銀および水銀化合物</li> </ul>

### 含有化学物質管理強化の考え方と今後の進め方

有害物質が製品に含まれていることは品質不良であるとの考えから、品質保証システムに組み込んだ管理活動を進めることで、これまでの活動をより強化していきます。具体的には、これらの基準類を整備すると共に、「確保」「管理」「保証」の3つのプロセスで、活動を展開していきます。

### FDKグループ含有化学物質管理のプロセス

